



第10号
 令和6年9月2日
 府中市立
 府中第八中学校



〈在籍生徒数〉一学年218名、二学年249名、三学年261名
 全校生徒数728名
 〈学校住所・電話番号〉
 〒182-0035 府中市四谷一丁目二八二七
 電話 〇四二(三六四)一八八一
 ★今学期もご感想などを、ぜひ、お寄せください！

『ケイビング：克服できなかったこと』（全校朝礼講話）

校長 高汐 康浩



「ケイビング」という言葉を知っていますか。ケイビングとは、鍾乳洞などの洞窟（どうくつ） 英語ではCave（ケイブ）を探索するアウトドアスポーツのことをいいます。私は大学一年生のときにケイビングに初めて出会いました。皆さんは、洞窟探検という言葉からどのようなイメージをお持ちですか。「おもしろそう」、「わくわくする」、「怖そう」、「ぜったいにやりたくない」などそれぞれ違ったイメージをもつのではないのでしょうか。

私は子供の頃からアウトドアが好きでした。その当時、以前、府中第八中学校で用務の仕事をされていた長（ちよう）さんという方から山登りやキャンプなどアウトドアの楽しさを学びました。ですから、ケイビングに対しても私はどちらかというと「わくわく」するイメージをもっていました。小学生の頃に、よみうりランドの西側にある「弁天洞窟」に連れて行ってもらったことがあります。弁天洞窟は京王よみうりランド駅の南側にある成光寺の境内（けいだい）にあります。拝観料を支払い、ろうそくとマッチを受け取ります。ろうそくの光をたよりに真っ暗な洞窟内を巡ります。小学生の私には、ちょっと怖かったのですが、同時にとてもわくわくしていたことを思い出します。このことをきっかけに洞窟探検に興味をもち始めました。その後、高校生の頃は、鍾乳洞（しょうにゅうどう）や風穴（ふうけつ）、氷穴（ひょうけつ）など、いくつもの洞窟を訪れました。でも、訪れた洞窟は観光化されていて洞窟内には照明が灯（とも）され通路は整備されているなど探検というイメージとはほど遠いものでした。訪れた洞窟は、東京都ではあきる野市の大岳（おおたけ）鍾乳洞、山梨県では、皆さんも自然教室で訪れたことのある富士山の裾野にある富士風穴・鳴沢氷穴などです。

今回の話のテーマ、「克服できなかったこと」についてお話しします。大学に入学し、ケイビングを活動の一つにしているクラブに出会いました。洞窟

探検に興味のあった私は、すぐに入部を決めました。五月に洞窟探検合宿が行われることになり、探検に必要なヘルメット、ヘルメットに装着するヘッドライト、つなぎ（上下一体の服）など装備一式を準備し当日をわくわくして待ちました。目的地は奥多摩の倉沢鍾乳洞でした。（現在は閉鎖）

探検隊長のA先輩を先頭に入洞しました。真っ暗な洞窟内を進みました。しばらく進むとだんだんと狭くなっていきました。A先輩が足元にある小さな穴を指さし、「ここを進む。しばらく狭く暗い空間が続くが、匍匐（ほふく：腹ばい状態）前進で遅れないように進め。」という指示がありました。その穴はヘルメットの直径位の小さな穴でした。内心、冗談を言っているのかと思いましたが、A先輩は先にその小さな穴に入って行ってしまいました。私は三番目に入るように言われましたので続きました。人の頭が一つ通るくらいの小さな穴が何メートルも続きました。見えるのは、前を進んでいる人の靴底だけです。できるだけ何も考えずただ進むことだけに専念しようと思っていたのですが、いろいろな不安が頭を過（よぎ）ります。『今、大地震がきて洞窟が崩れたら：』とか『この先、行き止まりになったら戻れるのだろうか』とか：本当に狭い空間で息苦しさも感じながら、パニック寸前の状態で、精神的には限界に近い状態になりました。何とか探検を終えベースキャンプに戻りぐったり倒れ込んでしまいました。先輩や仲間から励まされましたが、その後の探検はすべてキャンセルしました。実は、今でもその探検のことを思い出すと、息苦しさを感じてしまうほどトラウマになっています。

この探検後、このことを克服すべきか、諦（あきら）めるべきか本当に悩みました。クラブに入部するに当たっては時間をかけて考えて目標を立て固い決意もしたからです。でも、結局、諦めてクラブを退部することにしました。決断の決めては心身の状態です。特に「心」の状態を最優先に判断しました。この経験は後にも役立っています。さまざまな困難に出くわしたときには、自分自身の「心」の状態を特に大事にしなが、じっくりと考えて乗り越えるようにしています。

お知らせ

思春期は、心身ともに大きく成長する時期だからこそ、悩みをもつことがあります。悩みを抱えてしまっているときに、相談できる相談窓口はたくさんありますので、「安心」してください。これまで配布してきたリーフレット「不安や悩みがあるときは…一人で悩まず、相談しよう」と「TOKYOほっとメッセージチャンネル」を紹介しますので、活用してください。下のQRコードまたはURLからアクセスできます。



活躍する八中生

〔敬称略〕

★市制施行七十周年記念事業「府中市子ども議会」★

七月二十九日に行われた子ども議会の一環「府中市子ども議会」の一環として、鈴木愛果議員が「子育て世代の支援について」、宮西くるみ議員が「府中市の国際化」について質問しました。子ども議会の動画を府中市議会のホームページで見ることができます。府中八中のホームページとリンクしていますので、ぜひご覧ください。

★陸上競技部★



全日本中学校通信陸上競技東京都大会

女子共通 200m

第五位 中川 結咲 26秒26

男子共通 走幅跳

第八位 小笠原 結大 6m19cm

★吹奏楽部★

東京都中学校吹奏楽コンクール

A組 銀賞

★卓球部★

令和6年度ニッタクカップ第二回小金井市招待卓球大会

女子団体 優勝 利根川 花奈 大町 夏花 藤本 ゆずな

男子団体 第五位 畔上 夏実 細井 優莉 松浦 優那

牛久保 湊士 寺田 透吾

保母 凜太郎 松尾 信吾

右田 聖 梅原 碧真



<https://www.fuchu-tokyo.ed.jp/fuchu08c/02gaiyou/15108533456459d8e4a01a420230509142348.html>

<https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/message/>

前期教育活動アンケートから分かること



◎88%の生徒が、学習や生活に目標をもって取り組んでいます。全体の35%の生徒は「よく取り組んでいる」と回答しています。

特に3学年の生徒の肯定的回答の割合が高くなっています。3年生の93%の生徒が学習や生活に目標をもって取り組んでいると回答しています。82%の保護者の方が肯定的回答をしています。

◎79%の生徒が、防災に関する学習に意欲的に取り組んでいます。全体の27%の生徒は「よく取り組んでいる」と回答しています。

3年生の85%の生徒が肯定的回答をしています。上級生がよい手本となっていることがわかります。76%の保護者の方が肯定的回答をしています。これからも、地域と連携した防災教育により、将来、主体的に地域の安全文化の構築に貢献できる生徒を育てていきます。

◎94%の生徒が、学級の活動、学校行事に進んで取り組んでいます。全体の57%の生徒は「よく取り組んでいる」と回答しています。

3年生の98%の、1年生、2年生の93%の生徒が肯定的回答をしています。96%の保護者の方が肯定的回答をしています。

◎96%（前年度比27ポイント増）の生徒が、交通ルール、社会のルール、学校生活の決まりを守っていると回答しています。

肯定的回答が大幅に増えました。秋の交通安全運動中です。すべての自転車利用者に乗車用ヘルメットの着用努力義務が課されたことを再確認しましょう。99%の保護者の方が肯定的回答をしています。

◎96%の生徒が、友達などに思いやりの気持ちをもって接しています。全体の56%の生徒は「よく取り組んでいる」と回答しています。

どの学年も肯定的回答が95%を超えています。全体的にやさしい心や思いやりの気持ちがしっかりと育っていることがわかります。97%の保護者の方が肯定的回答をしています。

◎95%の生徒が、道徳の授業にしっかりと取り組んでいます。全体の44%の生徒は「とてもよく取り組んでいる」と回答しています。

豊かな心を着実に育む道徳科授業を行っていきます。93%の保護者の方が道徳の授業はお子さんの心の成長に役立っているよと回答しています。

秋

令和6年9月21日(土)～30日(月)

の全国交通安全運動